

令和 2年度

## 事務事業評価表（ 令和元年度 の実績評価）

### 【Do】 1. 事務事業の現状把握（その1）

## (1) 事務事業の概要

①事務事業の概要（事務事業の全体像）		②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
1.調査の目的 体力・運動能力調査を実施することにより、国民の体力・運動能力の現状を明らかにするとともに体育・スポーツの指導と行政上の基礎資料とする。		広報掲載・調査員依頼（スポーツ推進委員）・参加者募集・体力運動能力調査・集計・県への報告
2.調査市町村 各市町村が2年に1度実施する。		
3.調査人数 成年 20歳～64歳、5歳ずつの年齢区分で男女各3名（54名） 高齢者65歳～79歳、5歳ずつの年齢区分で男女各1～2名（6～12名）		
4.調査期間 5月～10月		

## (2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
・広報掲載 ・調査員依頼（スポーツ推進委員） ・参加者募集 ・体力運動能力調査・集計 ・県への報告	実施回数	回	1.00	0.00	1.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)
桜川市民数（20歳～79歳）	桜川市人口		40,483.00	40,027.00	39,571.00	39,115.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)
参加者が現在の体力年齢を把握することにより、今後の健康づくりのきっかけとする。	参加者数		85.00	0.00	100.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

### (3) カ入量(事業費)の推移

(3) 投入量(事業費)の推移		(実績)	(実績)	(計画)			総投入量
投 入 量	財 源 内 訳	国庫支出金 千円	○	○	○		○
		県支出金 千円	○	○	○		○
		地方債 千円	○	○	○		○
		使用料・手数料 千円	○	○	○		○
		その他 千円	○	○	○		○
		一般財源 千円	12	○	12		○
		事業費計(A) 千円	12	○	12		○
	正規職員従事人数	人	8,00人	0.00人	8,00人		

同上

事務事業名	体力・運動能力調査事業	事務事業No.	20401000969	所属課	スポーツ振興課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?					
国民の体力・運動能力の現状を把握するため、昭和39年度から文部科学省が調査を実施しており、2年に1度調査を行う。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

## 評価項目

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ・各自の体力年齢を把握することにより、その後の健康づくりのきっかけとなっているので結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ・文部科学省からの調査依頼のため、妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないか?)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ・年齢が限定され、調査方法も決められている。さらに広報やお知らせ等において周知しているので、向上余地はない。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ・文部科学省からの調査依頼のため、事業の廃止はできない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか?(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ・特に類似する事業がない。
効率性	⑥事業費・人件費の削除余地 (成果を下げずに事業費を削除できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ・調査当日は市スポーツ推進委員に依頼しているため、削減は難しい。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ・広報やお知らせ等において周知しているので、公平・公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																				
①目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	→																			
②有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	・2年毎に行う事業であり、30年度は調査を行う年であった。総勢85名の参加があった。各自、自分の体力年齢を確認するいい機会になったと思われる。																			
③効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
(3) 今後の事業の方向性																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → <div style="display: flex; align-items: center;"> <input type="checkbox"/> 目的の再設定    <input type="checkbox"/> 効率性の改善  <input type="checkbox"/> 有効性の改善    <input type="checkbox"/> 公平性の改善  <input type="checkbox"/> 統廃合ができる    <input type="checkbox"/> 連携ができる           </div>																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						
(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					コスト			削減	維持	増加	向上				維持		<input checked="" type="checkbox"/>		低下			
	コスト																					
	削減	維持	増加																			
向上																						
維持		<input checked="" type="checkbox"/>																				
低下																						
(6) 事務事業優先度評価結果																						
成果優先度評価結果			⑨																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価		(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)	
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A:継続(現状維持) B:継続(改革改善を行う)		確認欄 <input type="checkbox"/>	